

# チャーマーミングな傘寿 早川美津江さん

Jネット東京サロンには毎月、二十名以上の会員の皆さんが参加されていますが、その中でも特に「元気な人」ということで全国の皆さんにご紹介したい会員がおいでになります。

お名前は早川美津江さん、大正十三年、昔の春日村大字藤巻生まれの八十才。古川フジ校長時代の家政女学校へ出身。昭和二十三年ご結婚と同時に高田を離れ、現在大田区在住五十年以上。町会の役員も歴任され、町会行事には無くてはならない今や町の生き字引的存在とお聞きしています。

Jネット会員番号三八四。平成十二年十二月、故郷の「たら汁」に誘われてJネットサロンに初参加。その時は東京事務所があった日比谷の市政会館まで一人

で来れず、娘さんに連れてきて貰ったそうです。その時以来、連続三十四回の参加記録をお持ちですが、よんどころない事情で一度ストップしてしまいました。その後また記録更新に向かって毎月出かけて来ていらつしやいます。副会長より年間皆勤賞を二度も受けているのは早川女士だけ。参加回数のみならず女史の身のこなしや張りのある話声、フアツションを近くで拝見していると若々しくてチャーマーミング、実年齢を感じさせない元氣くんで実に魅力的です。サロン参加者からも驚きと羨望のまなざしを得ております。

サロンでは恒例になっている出席者全員持ち時間二分間のトークタイムがあります。話の内容は各人各様ですが、早川女士はいつも東京新聞の切抜きを持参さ

れ、ふるさと上越と重ね合わせて話題を提供されます。その記事の選び方が又素晴らしく女史らしい視点で物を見ているなあといつも感心しています。記事を一読した後、女史のお考えを話されるのですが、その時々タイムリーな話題に参加者は納得し大きな拍手を送っております。今回はどんな話かなと早川女士の順番を楽しみにしている方もおいでになり、サロンでは一番の存在感のある女性でもあります。

また、Jネットの「ふるさと交流観覧会」や「福列りなどのイベントにも積極的に参加され、全会員の中で参加率は一番良いお方だと思います。早川さんご自身は、サロンに参加することが生活のサイクルの一つになり、楽しみであると言われています。これから冬に向かい寒く悪



天候の日もあるでしょうが、そんな時でも少々甲高い声で、「いい子さん 今日も来ちゃったわ」という早川さんの元気なお声が聞けることでしょう。三十四回の連続参加記録を更新するのはやっぱり早川さんご自身でしょう。この一〇月のサロンで二十四回達成です。今年も皆勤賞はゲッツですね。

(運営委員 小野塚記)

